

メンバー、ボランティア、学生  
みんな仲間!

令和4年4月号

# けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」  
令和4年4月1日(第204号)

## 3月20日 スプリングフェスティバルに参加しました。

理事の高橋みどりさんが書かれた、たれ幕は、今年もみなさんに好評でした。映えていました。



司会だけでなくメンバーさんと話せたのが嬉しかった。Nさんとは「スーツ」を着ることだけの打ち合わせで臨みました。練習できなかったけど、まずまずの演出できたと自負してます。けやきの仲間とサイゼリヤで打ち上げてすごく楽しめました。もちろん4人と3人に分かれていたけど。(D.S)



フロンティアさんは、最後の参加でした。ありがとうございました。



けやきと仲間は、定番の「ウクレレと歌」で参加。榎さんの「チター演奏」と高柳さんの「ギター」も入りました。



最優秀作品賞の糸日谷さんと優秀作品賞の黒川さんが表彰されました。そして、糸日谷さんが原画で記念撮影



不本意な出来だった昨年のリベンジを果たすべく、今年は臨みました。当日本番前はバチバチの緊張モードでしたが、久しぶりに再会できた人もいたり、司会のトークにも笑えたりして緊張もほぐれて助かりました。舞台裏で前奏者の人に頑張ってください！と声かけも出来たりして、フェスタがまるでバトンリレーみたいな一体感を味わいもしました。自分の歌唱を良かったと言ってくれた人もいて嬉しかったです。開催に至るまで大変だったのではと思います。歌う機会を頂き感謝です。ありがとうございました。(歌で参加の大江)

大江さん、すごく緊張していたかも。「ゆず」と「世界のおわり」の選曲がよかった。深みがあった。さすが主治医(笑)心に響き渡りました。(N)



おつかれさまでした。このような状況においても、私たちの貴重な発表の場であるスプリングフェスティバルが存在する事自体がありがたいです。運営されていた皆様、ありがとうございました。また当日ステージに立った皆様の情熱にも拍手を送りたいです。個人的には失敗や上手くいかなかった事もあるので、次の機会に活かしていければと思います。ありがとうございました。

(歌とピアノで参加の齋藤) ピアノ演奏はお母さまの美乃さん



たけのこ工房 「コーラス」

・内容が濃くて、重厚感があって、2回分楽しめました。(S)



リベラ 「朗読」

・出演後、一人の方と話して、「心臓バクバクでした」「精神病って大変ですものね」「もちろんですよ」そんなやりとりをしました。(N)

・言っちゃ悪いけどありきたりのよくある文章だと思うけど、それが大事だと思います。意味があることだと思いました。(S)

栗の木のメンバーさん 「ギターと歌」

・2曲歌われたうちの1曲は、Dish という日本人のグループの「猫」という曲でした。ギターが上手で、歌詞が切なくて胸がしめつけられました。(数人の感想)



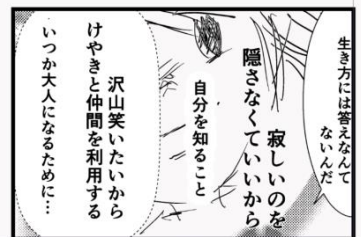


2月28日 池田三友紀さん13回忌

今年も三島市からお父様が来てくださいました。思い出の地を歩いて偲びました。



こんにちは！なおちゃんです



川柳

初オセロ白黒模様で目が回る

目と鼻が先に感知で春来たる

ぜいたくだ美乃のピアノにみわのうた